

徹 ・ 底 ・ 分 ・ 析 ・ ！

年度別

歯科衛生士 国家試験問題集

歯科衛生士国試問題研究会／編

令和4年版
出題基準準拠

2023 年版

【第27回～第31回】

医歯薬出版株式会社

【本書の特徴】

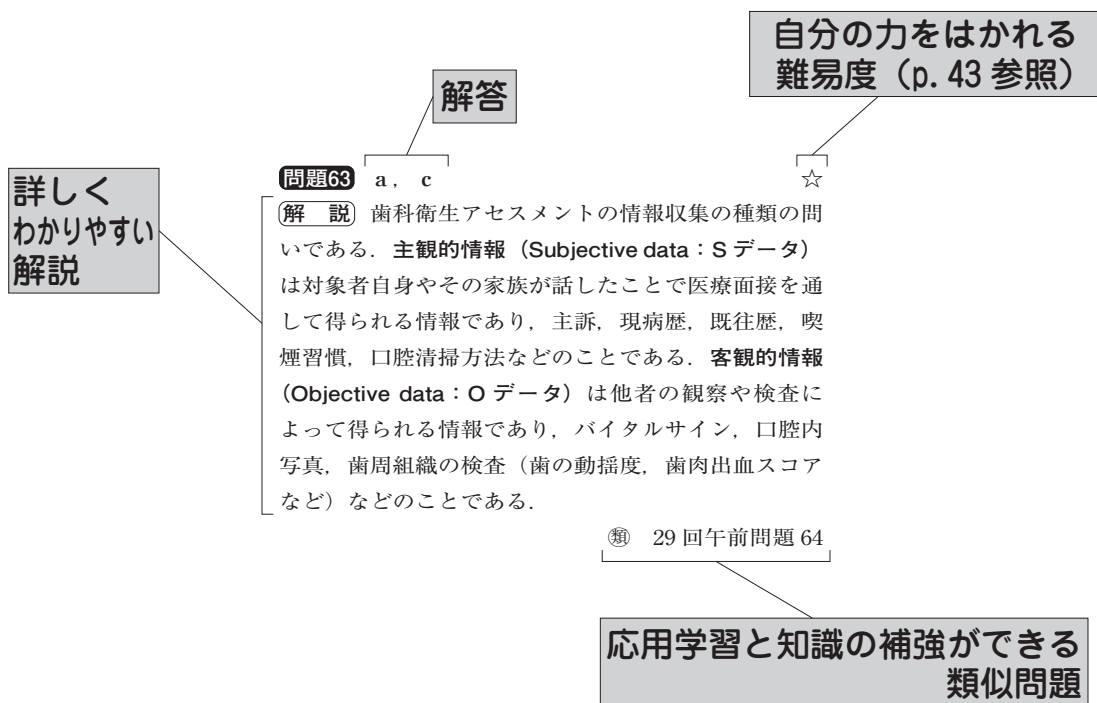
本書は歯科衛生士国家試験合格にむけて実戦力がつくよう編集された、受験対策書です。以下の特徴を十分に活用し、合格への道を確実なものにしてください。

☆**問題・解答・解説**—最近過去5年間の歯科衛生士国家試験問題を完全収録し、解答と詳しい解説を全問題に付してあります。なお、解説は厚生労働省から発表される解答に従っています。実際の受験のリハーサル用に使えるように問題と解答・解説は分離して収載しています（付録の模擬解答用紙は、コピーしてご利用ください）。

☆**歯科衛生士国家試験受験Q & A**—歯科衛生士国家試験はどのような試験か、どのように実施されるか、出題形式、解答のコツ、学習方法、試験当日の注意など、受験にあたっての細かなガイド・アドバイスが示されています。また、合格後の歯科衛生士免許申請に必要なものや注意事項も詳しく記されています。

☆傾向と対策—

- ① 出題基準別に全問題が分類されており、出題基準を一覧できると同時に、表を活用して弱点分野を克服できるようになっています。
- ② 解説の右肩には問題の難易度が示されており、別表と照らし合わせることで自分の学習の到達度がわかるようになっています。
- ③ 解説の右下には過去5年間に出题された類似問題が示されており、応用学習に役立ちます。



歯科衛生士国家試験受験Q & A

Q. 歯科衛生士国家試験はどんな試験ですか？

A1. 資格試験です

いままで皆さんが受験した高等学校や歯科衛生士学校の入学試験は、「選抜試験」に属し、成績順に一定の人数（定員）を合格させるものでした。しかし、歯科衛生士国家試験は歯科衛生士の業務を行う資格があるかどうかをチェックする試験で、ある点数（例えば 60 点）以上であれば合格となる「資格試験」です。受験資格を有する人は、通常日本の歯科衛生士学校または養成所を卒業した人または卒業見込の人ですが、それ以外の人は厚生労働省にたずねましょう。

A2. 四択一と四択二の 2 つの方式でつくられています

一般に、試験の解答方法は、大別すると「記述方式」と「選択方式」にわかれます。歯科衛生士国家試験は後者で、4 つの選択肢の中から正解を選ぶ方式です。そして、多くは解答記号 a, b, c, d のの中から解答 1 つを選ぶ四択一問題ですが、最近、解答記号の中から 2 つ選ぶ四択二問題も増えてきています。したがって、正解と思ったものを四択一では 1 つ、四択二では 2 つ確実にマークシートに記入しましょう。問題の最後に「2 つ選べ」とある場合は、このところを ☐ で囲んで強調し、最後にマークシートと照らし合わせて 2 カ所マークされているか確認しましょう（わからなくても解答用紙を提出する前に、いずれかにマークしておけば得点になる可能性があります）。また、先輩の体験談などを聞いたり模擬試験を受けたりして、マークシート試験（マークの方法と塗りつぶす濃さなども含め）に慣れておくといよいでしょう。

A3. 出題範囲が定められています

試験問題は、厚生労働省が定めた「歯科衛生士国家試験出題基準」に基づいて作成されます。したがって試験問題は、出題基準に示される範囲の中から出ることになります。出題基準には「大項目（1, 2, …）」「小項目（A, B, …）」およびさらにその下のランク（a, b, …）まで示されており、基本的にはこの範囲を勉強すればよいでしょう。本書では、令和 4 年に改定された出題基準に沿って、収録されている全問題を大項目、小項目のどこから出題されたか分類してあります（p.14～）。まず、出題範囲を理解し、重要なところを外すことなく、計画的に勉強を進めてください。

傾向と対策

◆ 出題数にポイントをおく！

各科目の出題数は公表されていませんが、これまでの国家試験問題を分析した結果、また、令和4年版の出題基準の内容から、おおむね表1のように予想されます。

表1 科目別出題数

科目名	出題数
一 人体の構造と機能	7～9
二 歯・口腔の構造と機能	7～9
三 疾病の成り立ち及び回復過程の促進	16～18
四 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	30～32
五 歯科衛生士概論	5～7
六 臨床歯科医学	53～55
七 歯科予防処置論	28～30
八 歯科保健指導論	28～30
九 歯科診療補助論	34～36

出題数が多い科目は得点源になります。逆にいえば不得意となると得点が大幅に減るので、重点的に学習しておくといよいでしょう。また、出題数がほかより少ない科目についても、まんべんなく学習する必要がありますが、より学習の能率をよくするためには出題傾向をつかんでおくとい効果的です。

【学習法アドバイス】 答え合わせをした結果を表2 (p.14～) 中の番号をぬりつぶすなどしてわかるようにし、不正解の多かった範囲を重点的に復習して、習熟するに役立てましょう。

◆ 難易度にポイントをおく！

表3 (p.43) は各年の全問題の難易度一覧表です。難易度のランクは、☆=比較的やさしい、☆☆=ふつう、☆☆☆=比較的むずかしい、となっています。

比較的難易度が中程度の問題が多いことがわかります。つまり、基本的には授業と教科書を理解していれば合格ラインに達するということです。日々の学習を大切にしましょう。

【学習法アドバイス】 答え合わせをした結果を、○×で表3中の問題番号に該当する☆印に記します。

第 27 回 歯科衛生士国家試験 — 問 題 —

(2018 年 3 月 4 日実施)

午 前

〔問題 1〕上顎骨後面の写真（別冊午前 No. 1）を別に示す。

矢印で示すのはどれか。

- a 正円孔
- b 歯槽孔
- c 大口蓋孔
- d 小口蓋孔

別 冊
午前 No. 1 写真

〔問題 2〕外分泌腺と内分泌腺の両方の構造をもつのはどれか。

- a 副 腎
- b 睪 臓
- c 甲状腺
- d 下垂体

〔問題 3〕下顔面の写真（別冊午前 No. 2）を別に示す。矢印で示すのはどれか。

- a 人 中
- b 口 角
- c 鼻唇溝
- d 上唇結節

別 冊

午前 No. 2 写真

〔問題 4〕下顎骨の写真（別冊午前 No. 3）を別に示す。

矢印で示す孔から出る神経の役割はどれか。

- a 下唇の感覚
- b 口輪筋の運動
- c 顎下腺の分泌
- d 下顎前歯部歯肉の感覚

別 冊
午前 No. 3 写真

〔問題 5〕血糖値を低下させるのはどれか。

- a インスリン
- b グルカゴン
- c アドレナリン
- d サイロキシン

〔問題 6〕炭酸-重炭酸塩緩衝系の化学反応式を示す。



①の反応を触媒するのはどれか。

- a アルドラーゼ
- b 炭酸脱水酵素

第 27 回 (2018 年実施) 歯科衛生士国家試験 —解答・解説—

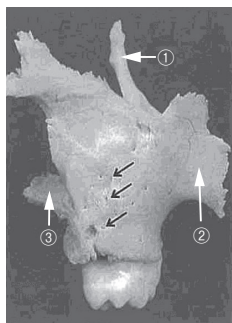
午 前

人体と歯・口腔の構造と機能

問題 1 b

☆☆

【解 説】 写真は上顎骨の後面である。上顎骨は、上顎体とそこから突出する前頭突起（下記写真①）、頬骨突起（下記写真②）、歯槽突起、口蓋突起（下記写真③）の 4 つの突起で構成されている。出題写真の矢印は上顎体の外側面（側頭下面）の中央部にある小孔を示しており、**歯槽孔**である。歯槽孔は後上歯槽動脈と上顎神経の後上歯槽枝が通る。**正門孔**は、中頭蓋底内面の蝶形骨大翼に存在する孔であり、上顎神経が通る。**大口蓋孔**と**小口蓋孔**は骨口蓋の後外側隅に存在し、大口蓋孔には大口蓋神経、大口蓋動脈・静脈が通り、小口蓋孔には小口蓋神経、小口蓋動脈・静脈が通る。また、上顎体前面の上縁近くには、眼窩下動脈、眼窩下静脈、眼窩下神経が通る眼窩下孔が存在する。歯科臨床では、痛みのブロックを目的として、眼窩下孔、下顎孔、大口蓋孔などへの伝達麻酔が行われる。



㊦ 25 回 (16 年) 午前問題 1, 午後問題 3

問題 2 b

☆☆

【解 説】 分泌とは、細胞が特定の物質を合成し細胞外へ放出することをいい、分泌を主な機能とする腺細胞の集団を腺とよぶ。外分泌腺では、腺房で産生された分泌物が導管を介して運ばれるのに対し、内分泌腺では、分泌物は周囲の毛細血管に放出され、血流によって運ばれる。**膵臓**は、消化酵素を含む膵液を分泌する

外分泌腺とインスリンやグルカゴンなどのホルモンを分泌する内分泌腺の両方の構造をもつ器官である。**副腎**、**甲状腺**、**下垂体**は、ホルモンを分泌する内分泌腺である。

問題 3 a

☆☆

【解 説】 写真は下顔面の口唇周囲を示している。矢印は上唇の正中の上部に存在する、**人中**とよばれる溝を示している。**口角**は上唇と下唇の接合部、**鼻唇溝**は上唇と頬の境にある浅い溝、**上唇結節**は上唇の正中の隆起している部位である。

問題 4 a

☆☆

【解 説】 下顎骨は下顎体と下顎枝で構成されており、写真の矢印は下顎体のオトガイ孔を示している。下顎管を通る下歯槽神経、下歯槽動脈・静脈は、オトガイ孔から出るとオトガイ神経、オトガイ動脈・静脈と名前を変える。オトガイ神経は、下唇部とオトガイ部の皮膚や粘膜の知覚を担う。**口輪筋の運動**は、顔面神経の頬筋枝と下顎縁枝が支配する。**顎下腺**は、顔面神経の刺激により、粘稠度の低い唾液を大量に分泌する。**下顎の歯と歯肉の感覚**は、下顎神経が支配する。

㊦ 24 回 (15 年) 午前問題 2 25 回 午前問題 3

問題 5 a

☆☆

【解 説】 内分泌腺から分泌されるホルモンの働きに関する問題である。**インスリン**はブドウ糖の細胞内への取り込みを促し、血糖値（血中ブドウ糖濃度）を低下させる。また、**インスリン**は膵臓のランゲルハンス島にある B 細胞から分泌され、B 細胞の破壊で起こる 1 型糖尿病の治療に用いられる。**グルカゴン**は膵臓のランゲルハンス島にある A 細胞から分泌され、血糖値を上昇させる。**アドレナリン**は副腎髄質から分泌され、交感神経の活動と同様の働きをする。**サイロキシン**は甲状腺から分泌され、全身の代謝を促進する。

問題 6 b

☆☆

【解 説】 炭酸-重炭酸塩緩衝系は赤血球内で働き、血